

## 第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画〔素案〕に寄せられた県民意見に係る 本県の考え方について

### 1 募集期間及び結果

この計画素案に関するパブリックコメントを実施したところ、次のとおり御意見が寄せられました。

<b>募集期間</b>	令和2年10月5日（月）～11月4日（水）までの31日間
<b>意見の件数</b>	45件（20名） ※前回（平成26年度計画策定時）：24件（20名）

### 2 寄せられた主な意見と今後の対応

- お寄せいただいた主な御意見は、中山間地域におけるコミュニティの維持に向けたサポート体制や最先端の学びと中山間地域の強みを生かした学習環境、農林水産業への新規就業者の確保、鳥獣被害対策に関する事など、今後の具体的な取組に関するものが多く寄せられました。
- 御意見に対する本県の考え方等は、次表に掲げるとおりであり、今後は、いただいた御意見を踏まえつつ、具体的な取組等について検討を進めてまいります。

#### 〔総論に関すること〕

寄せられた意見の概要	意見に対する県の対応・考え方
1 各分野にまたがった県の見通しが分かりやすくまとまっている。この計画が市町としっかりと共有され、県全体で同じ方向を目指して各政策が実現していくことを期待する。	○ 本計画の策定にあたっては、知事と関係市町の長で構成される「中山間地域振興協議会」において密接に協議、連携しており、実施段階においても一体的な施策の推進に努めてまいります。
2 「都市部の多くの住民も、中山間地域を大切な地域であると考えています」とあるが、その大切な場所を維持するためにはコストが必要であり、都市部住民がフリーライダーではいけないことも書くべきだと思う。	○ 私たちの暮らしは、その居住地にかかわらず、中山間地域と都市部が機能や役割を共有・補完し、支え合う中で営まれています。 ○ こうした認識の下で、中山間地域の価値は、そこに暮らす人だけでなく、都市部に暮らす人も含めた内外の人々によって引き継いでいく必要があることを、「目指すべき姿」の基本的な考えとして記述しています。
3 5年後の姿を実現するための考え方として、人に頼る部分が多いように感じる。中山間地域の住民の半分以上が高齢者であることを考えれば、個人の力だけでなく、中山間地域で事業を営む企業の関わりの大切さも盛り込んだ方が良いのではないかと。 中山間地域の特色を最大限活かした新事業に対する補助や、農業を含む産業維持の為の人材育成・新規雇用推進等を行うことで、既存事業の継続だけでは厳しい企業側にとってもメリットがあると考えます。	○ 御意見にもあるように、これからの地域運営は、個人の力だけでなく、企業や団体など様々な主体が関わっていくことが大切であると考えております。 ○ このため、計画期間となる「これからの5年間」は、多様な主体と行政が目的を共有し、役割を分担しながら、ともにサービス提供を担うことを基本とする考え方を記述しています。 ○ また、その実現に向けて、多様な企業や人材が、中山間地域ならではの資源や基盤を生かして、新たな事業などにチャレンジできるよう具体的な取組を検討してまいります。

〔総論に関すること〕（続き）

寄せられた意見の概要	意見に対する県の対応・考え方
<p>4 推進体制の概念図において、県・市町との関係と併せて、県民一人ひとりやNPOなど多様な主体の役割を含めて描かれた図が好ましいのでは。</p>	<p>○ 概念図では、地域づくりの主体として、中山間地域内外の個人や企業、団体（NPOを含む）を「県民」として最上部に示し、市町や県が連携しながら、その活動を支え、総力を結集して、中山間地域の振興に取り組むことを表しています。</p>

〔施策の推進方向全般に関すること〕

寄せられた意見の概要	意見に対する県の対応・考え方
<p>5 「中山間地域の価値や存在意義について、様々な機会を通じて理解の促進と共感の獲得を図ります」とあるが、具体的にどのような施策を考えているか。</p>	<p>○ 中山間地域の価値に共鳴し、その維持・発展を図ろうとする人たちの幅広い活動を通じて、共感する人々をさらに増やしていくことが重要と考えています。</p> <p>○ そのためには、都市部に住む方々を含め、より多くの方が中山間地域との関わりが持てるよう、地域ならではの生活体験機会の提供や地域とのつながりを築く関係人口づくりに取り組んでまいります。</p>
<p>6 日本人の社会減とともに外国人の社会増が見えてくるが、今後も中山間地域における大切な構成員である外国人の役割やサポート体制などについてどのように考えているか。</p>	<p>○ 県内では、特に外国人労働者や留学生が継続的に増加していくことが見込まれており、外国人をはじめとした多様な人材を活用して新たな活力を生み出していくことは、今後の県経済や地域社会の発展にとって不可欠であると考えています。</p> <p>○ そのためには、外国人が孤立することなく県民の一員として地域に溶け込み、安心して生活できる環境を整備していくことが重要です。</p> <p>○ このため、令和2年度から、異文化理解の推進を図るとともに、市町と連携して、外国人が地域とのつながりを深めながら、生活に必要な情報を外国人同士で共有できる仕組みづくりに取り組んでいるところです。</p>

【施策の推進方向に関すること】 《多様な力でつながる人づくり》

寄せられた意見の概要	意見に対する県の対応・考え方
7 地域の魅力の発信や、地域に根差した人と人をつなげる「編集・デザイン」の事業が中山間地域に必要であり、それをできる人を呼び込む仕組みや、その土地での育成が大事である。	○ 地域に活力を生み出し、様々な課題を解決する原動力となるのは、中山間地域に愛着や誇りを持って、内外から継続的に地域を支えようとする方々であり、そういう方々の存在があって、初めて将来に明るい展望を描くことができるようになると考えています。
8 外部の力の利用は大事であるが、内部で埋もれている人材をどう活用するかという視点も重要である。	○ このため、地域に根差した活動等に取り組む人材の裾野を拡大し、多様な人材のネットワークによって、地域の課題解決につながる様々な取組が実践されるよう、人材プラットフォームの運営や幅広い人材・団体の育成などに取り組みます。
9 地域課題の解決等に向けて、多様な主体同士が交流・連携するためには、連携を促進させるためのスキルや経験をもった人材またはその機能を有する機関・団体の育成が必要と考える。	○ また、地域に愛着を持ち継続的に地域と関わりを持つ外部人材の誘致やネットワークづくりを進め、多様な力でつながる地域づくり活動の主体的な取組を後押ししてまいります。
10 人材育成に関する事業は非常に良い。育成したリーダー同士及び、首都圏人材との交流機会を増やすことにより、地域内外での関係人口の増加や、より強いネットワーク構築につながる。	○ さらに、地域づくりに関わる人材や団体が、ウェブ上で活動状況を共有できる仕組みを構築するとともに、県庁内に設置している「地域づくりサポートデスク」等を通じて、地域づくりに関するワンストップの相談窓口として、きめ細かいサポートを行ってまいります。
11 現役地域おこし協力隊の相談対応やアドバイスができるコンソーシアムがあれば、地域内外で活躍するOBや地域活性化のリーダーから学び、より有意義な取組につながると考える。	
12 地域の様々な問題を解決しようとする人材がいるのはとても心強い。そうした人たちがモチベーションを保ち、取組が継続できるようなサポートを期待する。	
13 「地域運営の仕組みづくり」について具体的な内容や方針を聞かせて欲しい。	○ 中山間地域の集落は、高齢化や小規模化が進展し、地域の運営機能も低下しつつあるところです。
14 地域活動において、人材を受け入れる地縁団体側の疲弊が目立つ。次世代の担い手の受け皿となる地縁団体をサポートしていく視点も必要ではないか。 中山間地域の豊かさ、広島県の良さに気付き、自らアクションを始めた人たちの「点と点」が次々に「線」になりつつある今、次の段階の「面」に広がっていくための手立てを講じて欲しい。	○ こうした状況を踏まえ、市町と連携して、地域間の機能分担や協働した取組を支援することによって、人口減少下にあっても、安心して暮らせる持続可能な地域運営の仕組みづくりを進めてまいります。 ○ また、住む人たちを専らサービスを受ける客体として捉えるのではなく、ともに支え合い、地域の未来をつくる存在として捉え、それぞれの実情に応じて、その主体性が発揮できるよう、地域と行政が一体となった取組を進めてまいります。
15 Iターンなどの移住家族だけではなく、コミュニティの小さい過疎地域に嫁いだ方やUターンした人の配偶者といった方々にも配慮しながら、すべての人が支え合える、地域と行政が一体になった取組が必要。	

【施策の推進方向に関すること】 《多様な力でつながる人づくり（続き）》

寄せられた意見の概要	意見に対する県の対応・考え方
<p>16 スポーツイベントは参加する側だけでなく、開催する主催者やボランティア側も元気になる要素があるので大いに実施すべきである。市町主催のスポーツイベントの目的、コンセプト、目標を確認し、情熱でそれをしっかり地域に浸透させていくことが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツには、地域の方々が様々な形で関わることにより、地域に一体感や活力を醸成する力があります。</li> <li>○ こうした認識の下、スポーツの可能性を地域振興に生かす取組を後押しすることによって、スポーツを通じた地域アイデンティティの醸成や活力ある地域づくりにつなげてまいります。</li> </ul>
<p>17 若者による移住ニーズが高まる傾向にあるが、40代から50代でセカンドキャリアとして地域で働く環境を模索されている方も増えており、本世代に対するアプローチの検討をしてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県が設置している東京の相談窓口では、30～40歳代の移住相談が最も多く、続いて50歳代となっており、移住に際して最も優先する項目として「仕事」が挙げられているところです。</li> <li>○ こうした状況を踏まえ、経済団体等と連携した仕事の掘り起こしやライフステージに応じた仕事の紹介等を通じて、セカンドキャリアを地域に求める方々の移住ニーズを積極的に取り込んでまいります。</li> </ul>
<p>18 大枠で方向性については賛同する。中山間地域の活性化については広島県のほうが先を行っていると思うので、広島市との連携をもっと加速させてほしい。特に空き家の活用については全市町に対して県がもっと支援し、空き家を活用し、住みたいと思ったときに住める体制を作ってもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空き家の活用については、県、全市町、関係団体で構成する「広島県空き家対策推進協議会」を設立し、空き家対策に取り組むとともに、市町において、その活用や除却等に関する相談を受けているところです。</li> <li>○ また、空き家紹介等については、ひろしま空き家バンクウェブサイト「みんと。」による空き家活用の事例紹介や市町等の「空き家バンク」によるマッチング支援を行っているところです。</li> </ul>
<p>19 実家を離れていても空き家や耕作放棄地などの相談ができる行政相談窓口などの仕組みを作ってはどうか。また、オンライン相談・専門家による診断・マッチングサービスなどにデジタル技術の活用が有効であると考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 加えて、空き家等の地域づくり拠点としての活用相談等については、「地域づくりサポートデスク」によるサポートも行っております。</li> <li>○ こうした取組と併せ、デジタル技術も活用しつつ、必要な取組を検討してまいります。</li> </ul>
<p>20 高野町では若い世代の三次への流出が1番の課題。賃貸住宅も常に満室で、抽選漏れにより庄原市内よりも近い三次市へ流出している状況であり、この負のスパイラルを断ち切るためには、まずは賃貸住宅の増設、そして空き家修繕が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ なお、市町が実施する地域における賃貸住宅の増設や空き家修繕などに対する取組については、国の支援制度の活用も含め、必要な支援を検討してまいります。</li> </ul>
<p>21 田舎に多い空き家の活用は、実際には老朽化による修繕費が想像以上に膨れ、事業を圧迫しかねない。建物のたたずまいも「風景」「文化」の一部と捉え、保存の観点が必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国においては、歴史と風土に根差した暮らしの景観を「文化的景観」と定義して保護の対象としており、国が選定した「重要文化的景観」に含まれる家屋も保存・活用経費を補助する仕組みが設けられています。</li> <li>○ 文化財の保護は各地域における意識の高揚や積極的な取組が重要と考えており、市町が地元住民と連携して行う事業に対し、必要に応じて助言してまいります。</li> </ul>

【施策の推進方向に関すること】 《多様な力でつながる人づくり（続き）》

寄せられた意見の概要	意見に対する県の対応・考え方
<p>22 中山間地域の子どもたちが、日本や世界の最先端を学んだり・体験したりできる機会を作ってほしい。「田舎だから学ぶことができない、体験することができない」といった教育機会格差を解消し、世界で活躍する人材を育てたい。</p>	<p>○ 御意見のとおり、中山間地域に居ながら子供たちが最先端の学びや体験を通じて、夢に向かってチャレンジできる教育環境を整えていくことは、重要であると考えております。</p> <p>○ 今後は、学校におけるICT環境の整備により、オンラインを活用した専門家との双方向のやりとりも可能になるなど、教育活動の幅が広がってくることから、引き続き、地理的な条件や規模にとらわれない多様な学びの機会を提供できるよう取組の検討を進めてまいります。</p>
<p>23 人材育成において、中山間地域の子どもたちに「地域に愛着を持ち、残って欲しい」とプレッシャーを与えるのではなく、中山間地域が十分な教育やチャンスを与えられる環境であり、子供たちの夢をかなえられる地域だと思われることが重要である。</p>	<p>○ 地域愛を育むことについては、学校が、各教科や総合的な学習の時間等において、地域の人々の暮らしや、伝統と文化等、地域の特色に応じた教育を進めているところです。</p> <p>○ 今後も、教育活動を通して地域の魅力を発信していくとともに、地域を愛する児童生徒の育成に努めてまいります。</p>
<p>24 児童に地域の魅力を伝え、保全を目指す授業は、地域愛を大きく育むことにつながることから、これを継続できる環境を整えて欲しい。</p>	<p>○ 子供たちが里山・里海の理解を深められるよう、各市町が取り組む地域の自然環境等の特色を生かした教育活動の充実を支援してまいります。</p>
<p>25 「里山里海の理解を深める環境学習を行います」を加筆してはどうか。</p>	<p>○ 小中学校の統廃合については、各市町において、地域の実情等を踏まえながら検討されています。</p> <p>○ 県としても、これを尊重しつつ、状況に応じた支援に努めてまいります。</p>
<p>26 故郷、下蒲刈町は自然豊かで人情厚い、おもてなしの風土に満ちあふれており、子どもたちが学ぶには最適な環境である。「適正化」の名の下に統廃合を繰り返すのではなく、多様で豊かな魅力ある学校づくりを目指すべきではないか。</p>	<p>○ 廃校施設の利活用については、活用方法や利用者を募集している県内の廃校施設の情報を集約し、ホームページに掲載するとともに、各市町に対し、国が紹介する活用事例の共有や企業等とのマッチングに向けた働きかけなどを行っているところです。</p> <p>○ また、県立学校については、廃校施設の市町への譲渡やグラウンドの貸与、民間への売却等を行っているところです。</p> <p>○ 今後とも引き続き、廃校施設が有効に活用されるよう、取り組んでまいります。</p>
<p>27 廃校になった学校を町づくり拠点等として利活用していくために、県が窓口になって情報提供（課題、ノウハウ、成功事例等）や交流会・ネットワークづくり等をしてほしい。</p>	<p>○ 県と市町においては、市町教育長会議をはじめ様々な機会を通じて教育施策に関する意見交換を行っているところであり、今後も、市町と積極的な意見交換を行いながら教育施策を展開してまいります。</p>
<p>28 学校教育において、県のほうが面白い取組をしていると感じるので、県と市町の境目を無くし、もっと積極的な意見交換がなされることを期待する。</p>	

【施策の推進方向に関すること】 《夢をカタチにできる仕事づくり》

寄せられた意見の概要	意見に対する県の対応・考え方
<p>29 人口減少危機が間近に迫っており、地域での経済循環がより必要になると思われる。従事者の高齢化、減少が著しい農業・漁業事業者に対し、技術面や資金面などからのサポートや就業先として選択されるためのPRが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農業・漁業事業者については、御意見にもあるとおり、技術面や資金面でのサポートに加え、次代を担う人材の確保に向けて、積極的なPRに努めていく必要があります。</li> <li>○ このため、市町や関係機関が実施する研修や国による支援金などを通じて、新規就業者等の技術力・経営力の向上に向けた支援を行うとともに、就業に関する積極的な情報発信に努めているところであり、引き続き、農業・漁業を通じた所得向上や地域における雇用拡大に取り組んでまいります。</li> </ul>
<p>30 環境保全型農林水産業推進項目の追加を望む。特に県として景観保全型の第一次産業に注力することは多くの共感を呼び、今後、移住や観光で選ばれる県となりうるのではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農地は、食料を生産する場としてだけでなく、良好な景観を形成し、人々に安らぎを与える場にもなると認識しており、こうした多面的な機能が維持、発揮されるよう、農地・農業用施設の保全活動に対する支援を含めた「持続的な農業生産活動の推進」を項目として掲げ、取組を推進してまいります。</li> </ul>
<p>31 鳥獣被害増加問題について、人の暮らすエリアと鳥獣の居るエリアを区別する里山設定が有効だと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域農業を持続的に維持していく上で、鳥獣被害は、農業生産の意欲を低下させる大きな要因であると認識しております。</li> <li>○ このため、引き続き、「環境改善」や「侵入防止」、「加害個体の捕獲」による総合的な鳥獣被害防止対策に取り組めます。</li> </ul>
<p>32 鹿・猪による被害が地域に与えている多大な影響について現状把握が不十分ではないか。その被害により耕作意欲が減退し、耕作放棄につながり、地域の維持、さらには景観の維持が困難になっている。獣害対策に市・県だけではなく中国5県や全国的な対応を迫られている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ また、里山の保全等の「環境改善」に取り組むことは、鳥獣等の潜み場をなくすことに繋がることから、地域住民等が里山林を活用しながら継続的に管理する取組についても支援してまいります。</li> <li>○ さらに、市町と連携して集落実態調査を実施し、集落ごとの被害程度や対策状況を把握・分析することによって、課題のある集落に対し、成功事例を持つ集落の取組を波及させていくこととしており、こうした取組成果を国や中国5県等によるネットワーク組織でも共有してまいります。</li> </ul>
<p>33 起業した人が事業を立ち上げてから軌道に乗るまでの伴走制度が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中山間地域における多様な人材の起業やビジネス展開については、「ひろしま創業サポートセンター」を中核機関とした関係機関の連携による創業支援などを通じて、創業準備から創業後の離陸期までの切れ目ない支援を行ってまいります。</li> </ul>

【施策の推進方向に関すること】 《夢をカタチにできる仕事づくり（続き）》

寄せられた意見の概要	意見に対する県の対応・考え方
<p>34 「中山間地域だからこそ実現できる働き方」への見直しについて、従業員側への訴求だけでなく、雇用する企業の側への意識づけをすることにより、より柔軟な企業間交流や地域内の人の交流が生まれるのではないかと。例えば、既存企業に対して中山間地域に進出した企業のサテライトオフィスでの働き方を紹介するなど、これまでの企業風土を見直すきっかけづくりをしていくことが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中山間地域ならではの環境を生かすなど、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の実現に向けて、優良事例の見える化・情報発信や経営者への働きかけ等により、取組意欲を喚起していくことが重要と考えています。</li> <li>○ 施策の推進に当たっては、御意見も踏まえ、経営者の方々への啓発にもつながるよう、具体的な取組を検討してまいります。</li> </ul>
<p>35 田舎の存在価値の一つに、都会にはない穏やかさ、寛容さがある。それをリモートワーク等で活用するためには、インターネット環境や小回りの効く交通機関の充実が不可欠である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナ危機により、ワーケーションをはじめとする、時間や場所に捉われない多様な働き方や暮らし方のニーズが高まってきています。</li> <li>○ こうした状況を踏まえ、市町と連携を密にしながら、中山間地域における光ファイバ等の情報通信基盤の整備や地域の実情に応じた交通システムの導入に対する支援を行うとともに、新たな交通サービスの活用について検討を進めてまいります。</li> </ul>
<p>36 一つの観光資源に対し様々な担当部署が存在するため、調整や思いの共有が難しくなっているように感じる。地域の観光資源の活用には、県や市町の各担当部署の調整をスムーズに行うための仕組みづくりが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中山間地域の観光資源の中には、観光面だけでなく、文化財や自然公園など様々な分野にまたがるものも多く、その効果的な活用を図るためには、関係機関が連携して、総合的な観点から活用策を検討していく必要があると考えています。</li> <li>○ このため、計画中に、中山間地域を有する市町やDMO等と連携を図ることを追記しました。施策推進に当たっては、こうした連携と併せ、必要に応じて、関係部署による連携や県・市町・関係団体で構成する各種協議会等の場も活用しながら、総合的な調整を行ってまいります。</li> </ul>
<p>37 コミュニティー農園・ガーデンを作り、調理スペースの貸し出しやレンタル、オープンガーデンをしたりするとよい。市民が緑あふれる環境に接する機会を増やしていくことにより、市民の心身の健康促進と地域貢献につながる。市民が植物に携わることでフラワーフェスティバルが似合う広島になり、来訪者の増加にも期待できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光面においても、安全・安心へのニーズが高まるとともに、密を避けた、自然の中での体験等に関心が高まっているところだ。</li> <li>○ こうした状況を踏まえ、広域的な周遊の促進と滞在時間の延長に向けて、市町やDMO等とも連携しながら、観光関連事業者を支援し、中山間地域ならではの高い価値を提供できる観光プロダクトの開発に取り組んでまいります。</li> </ul>
<p>38 中山間地域ならではの価値を生かした観光プロダクトの更なる魅力向上に向けて、具体的にどのような施策を検討しているのか。</p>	

【施策の推進方向に関すること】 《安心を支える生活環境づくり》

寄せられた意見の概要	意見に対する県の対応・考え方
<p>39 交通網の整備について、大人だけではなく、居住する身近な地域を越えて通学する高校生の視点も大切にしてほしい。広島県の中心部との交通、ある地域内だけの交通網だけではなく、地域の間を結ぶ交通網の整備をどうするのか、広島県全体での交通網整備の考え方の整理が必要ではないだろうか。JRへの過度の依存も含めて検討すべきだと思う。</p>	<p>○ 地域の交通体系については、市町をまたぐ幹線バスや市町が行う身近な生活交通の運行に対する支援を行っているところです。</p> <p>○ また、市町においても、交通事業者やPTAなどで構成する市町の交通会議で、通学手段の確保を重視した交通体系の検討が行われているところであり、県としても、こうした状況を踏まえながら、関係機関と連携して、地域の実情に応じて、必要とされる生活交通のあり方を検討し、利便性の高い生活交通体系への再編を促進してまいります。</p>
<p>40 中高生の支援項目追加を望む。家庭学校以外の居場所がなく、それが都市流出の原因となっていないか。合わせてp.80 子育て環境の充実(目標)に「自分の育った地域で安心して暮らせる・将来暮らしたいと思う中高生の割合」を加えてはどうか。</p>	<p>○ 中高生を中心とする若年層の県外転出については、両親の転勤など主因者に伴う転出や進学などが大きな要因となっていますが、「将来、自分が育った地域で暮らしたいと思う高校生の割合」についてアンケート調査を行うことなどにより、状況の把握に努めてまいります。</p>
<p>41 木質バイオマス等の再生可能エネルギーの利用促進について、大規模伐採への住民不安を聞き取っているため、「景観や生物多様性など環境保全への配慮をしながら」と加筆してはどうか。</p>	<p>○ 地域資源を活用した再生可能エネルギーの利用促進に当たっては、景観や生物多様性など環境への影響にも配慮しながら取組を推進することとしており、里山の手入れによって搬出された未利用材を活用することなどを、施策の推進方向として記述しています。</p>
<p>42 地域資源を活用した再生可能エネルギーの利用は森林の保全を含む有効な手段でもあり、倒木処理や人工林整備は災害未然防止にもつながる。</p>	<p>○ また、野生生物の適切な管理など環境保全への配慮も不可欠であると考えており、計画中に「生物多様性の保全」に係る項目を立て、具体的な検討を進めることとしております。</p>
<p>43 「自然公園等の施設が県民のよくばりライフ実現に貢献」するためには、国定公園の公園管理団体の設置や、少なくとも国定公園を保全し活用する団体への支援を含めたパートナーシップの構築が必要と考えるが、国定公園の活用について具体的にどの様な施策を考えているか。</p>	<p>○ 国定公園等の自然公園については、中山間地域ならではの自然体験ができる貴重な施設であり、本県における体験型観光の主要なコンテンツでもあります。</p> <p>○ このため、安全かつ快適な利用に向けて、適切な維持管理に努めつつ、関係団体や市町との連携を通じた自然との触れ合いの場の提供など、具体的な取組を検討してまいります。</p>
<p>44 豪雨災害とともに地震・津波に対しても防災の重要な柱と位置づけ、実効性のある事前防災対策を早急に取り組んでいただきたい。</p> <p>また、広島県が主導し、「行政・医療機関・警察・消防・自衛隊・海上保安庁」一体となった「オール防災」チームの設置を検討していただきたい。</p>	<p>○ 「広島県地域防災計画」では、地震災害や津波災害についても重要な柱と位置付けており、引き続き、迅速、的確かつ総合的な対策を実施してまいります。</p> <p>○ また、地域防災については、行政・自衛隊・警察・消防・公共機関等で構成される「広島県防災会議」を設置しており、総合的かつ計画的な対応を行っていくこととしております。</p>

※ 御意見のうち、内容について原文を一部要約又は分割して掲載しています。  
 なお、個別事業等への御意見・お問い合わせについては掲載しておりません。